

4年ぶりに開催した「夏休みふくし体験教室」で、21名（延べ47人）の小中学生および一般の方が、市内の福祉施設で施設を利用されているみなさんとともに、レクリエーション活動やふれあい交流をしました。
体験の一コマをご紹介します。

夏休み ふくし 体験教室

体験レポート

主催／伊賀市社会福祉協議会
共催／伊賀市社会福祉法人連絡会

小規模多機能型居宅介護 しらふじの里

9:00 説明等
9:15 配茶
9:30 交流
12:00 昼食
14:00 レクリエーション
16:00 終了



2日間ふくし体験をした、坂本燈麻さん（小5）と、糸環さん（小2）。ご両親が高齢者関係の仕事をしていて、お父さんから体験をすすめられて、今回の参加を決めました。初日はデイサービスの夏祭りで、盆踊りに参加しました。

燈麻さんは、「耳が聞こえにくいお年寄り人が多いので、大きな声でハッキリ話すようにしています。」と話してくれました。糸環さんに、介護のお仕事への関心について尋ねると、「楽しいから、しても良いよ!」とニコリ。お二人は、「ちょっと大変だけど、楽しいから来年も来るよ」と元気に答えてくれました。



プレイヤー作業所

9:00 オリエンテーション・あいさつ
9:15 作業体験
12:00 お昼休けい
13:00 作業体験
13:45 体験ふりかえり
14:30 メンバーさんと掃除・終礼



瀬谷弦誠さん（小6）は、お家の方にすすめられ、障がいのある方と一緒に作業を体験してみたいと思ったことがきっかけで、参加しました。

この日は、野菜の葉の選別作業や、箱折り作業などを一緒に体験しました。最初は緊張していた様子でしたが、時間が経つにつれて、メンバーや職員のみなさんと楽しく会話をされていました。弦誠さんは、「作業は大変で疲れたけれど、楽しかった!」と話していました。





ふっくりあホイスコーレ

9:30 ラジオ体操・予定確認
活動に参加
12:10 昼食
13:00 活動に参加
14:45 掃除・翌日の予定確認
15:15 終了



ふっくりあホイスコーレで体験された、吉岡果穂さん(中2)は、お兄さんが過去に夏休みふくし体験教室で、高齢者施設を訪れていたことがきっかけで、自身も参加したいと思って参加されました。

果穂さんは、体験で商品の箱詰め作業を一緒にしたり、勉強会や調理など色々なことをしていることも学んだそうです。果穂さんは、「施設の職員さんが親切で、メンバーのみなさんも明るくて、楽しい体験でした。」と話してくれました。

デイサービスセンター うえのやすらぎ

8:30 お茶出し
9:00 お茶出し・脳トレ・配膳・下膳
11:45 休憩
14:00 リハビリ体操・レクリエーション
16:00 終了



いちみのの
一見乃々さん(小4)は、従妹の里中このみさん(小3)と共に参加し、みなさんとぬり絵や体操などを楽しみました。

乃々さんは、塾で講師をしていた利用者のAさんに夏休みの宿題の算数を丁寧に教えてもらい、「わかりやすかった」と喜んでいました。このみさんは、「お風呂って、いくつあると思う？正解は3つ！」「車いすに乗っている人もいたよ。」など、初めて知ることたくさん。二人は昼食前の手指消毒のお手伝いをして、「ありがとうって言ってもらった。」と嬉しそうに話していました。

利用者の方からは、「学校が休みの時にまた来てほしい」とのお声もいただいたそうです。



新しい出会い・
ふれあい

夏休みふくし体験教室を申し込んだきっかけいろいろ

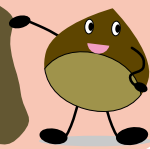
ふくしの仕事を
知りたい！

- ・親子で福祉体験をしたかった。
- ・夏休みに何か新しい体験をしてみたかった。
- ・体験して、また行きたいと思った。
- ・違う世代の人と交流して、福祉の事も知りたい。
- ・いい経験になるし、コミュニケーション能力を高めたい。
- ・前回の体験でスイカを育てていたから、その後どうなっていくのか知りたい。

- ・中学生の時にに行けるはずだった保育実習がなくなり、機会を待っていた。
- ・やりたい事を見つけるために。
- ・いろんな施設で学び、将来の夢に繋げたい。
- ・将来介護の仕事に就きたいから。
- ・利用者さんの過ごし方や苦労していること、職員の関わりも学びたい。

来年度も、たくさんの方のご参加をお待ちしています！

“M” B



地域共生社会 実現に向けて

～ 全ての人に居場所と役割を～



日時 令和 5 年

10/28 土 13:30～15:30
(受付 13:00～)

会場 ヒルホテルサンピア伊賀
4F 白鳳の間

(伊賀市西明寺 2756-104 ☎0595-24-7000)

◆見守り支援員ガイダンス・あいさつ (13:30～14:00)

◆講演 (14:00～15:30)

演題／「地域共生社会実現に向けて
～全ての人に居場所と役割を～」

講師／(福) 豊中市社会福祉協議会 勝部麗子氏

■申込方法／申込専用フォーム、電話、FAX
にて、伊賀市社協本部または地域センター
までお申し込みください。

※情報保障が必要な方は、お早めにご連絡ください。

申込▼



講師

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
事務局長 勝部 麗子氏

大阪府豊中市生まれ。昭和 62 年に豊中市社会福祉協議会に入職。平成 16 年に地域福祉計画を市と共同で作成、全国で第一号のコミュニティソーシャルワーカーになる。地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦。その活動は府や国の地域福祉のモデルとして拡大展開されてきた。厚生労働省社会保障審議会委員を歴任。NHK ドラマ「サイレント・プア」のモデルであり「プロフェッショナル 仕事の流儀」にも出演。著作に「ひとりぼっちをつくらないーコミュニティソーシャルワーカーの仕事」。

申込・問い合わせ先 社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-33-0064・FAX21-8123
伊賀市平野山之下 380 番地 5 伊賀市総合福祉会館

伊賀市社会福祉法人連絡会 令和5年度 市民向けセミナー

～あなたの困りごとを「安心」に～ みんなでお悩み解決セミナー

とき 令和5年11月5日[日]13:30～16:00 (受付13:00～)

ところ 伊賀市文化会館さまざまホール

テーマ① 「終活」

- ・自分で自身のことができなくなるまでに何を準備すればいい？
- ・本人の望む最後の生き方と逝き方を考える

テーマ② 「地域の宝・地域の子育て」

- ・子どもが減っているけど、私たちにできることってあるの？
- ・気になる子どもがいるけれど、保護者もいるし、手を差し伸べにくい…

テーマをもとに、みんなで考えてみましょう！

◆助言者／関西学院大学 名誉教授 牧里 每治氏

◆進 行／(福)伊賀市社会福祉協議会 事務局長 田邊 寿

**事前申込必要
参加費無料**

申込方法 参加希望の方は、申込フォームまたは下記までお申し込みください。▶申込フォーム

申込・問い合わせ先 伊賀市社会福祉法人連絡会事務局 (伊賀市社会福祉協議会内) ☎0595-21-5866・FAX26-0002

■主催／伊賀市社会福祉法人連絡会 ■後援／三重県社会福祉協議会、伊賀市、伊賀市民生委員児童委員連合会

毎月の寄付者募集

1日33円からできるサポート

伊賀市社会福祉協議会

私たちは、地域社会を良くするために、制度の狭間となる課題解決に挑戦し続ける団体です。ぜひ、ご寄付という形で私たちの活動を支えてください。

【申込・お問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866・FAX26-0002



広告募集中！

自分らしく踏み出す一歩

15～49歳までの、仕事に就きたいと思っている人とその家族を応援しています。

何から始めたらいいかわからない・・・

▶就職活動（応募まで）をサポートします!!

- ① 自己理解と仕事理解
- ② 適性に合った求人情報の提供
- ③ 履歴書・職務経歴書の書き方 (志望動機・自己PR)
- ④ 面接練習

就職相談 各種講座 利用無料 要予約

11月 無料パソコン講座

【ワード】6日(月)
【エクセル】10日(金)/13日(月)
【パワーポイント】20日(月)
【時間】10:00～15:15

サポステ ☎0595-22-0039 ✉iga-saposute@npo-en.or.jp
伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階
■開所日/月～金 9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始は休み)

5 No.211 10月号

伊賀市共同募金委員会からのお知らせ

赤い羽根共同募金

にご協力をお願いします

令和5年度目標額

13,163,700円

市民のみなさまへ

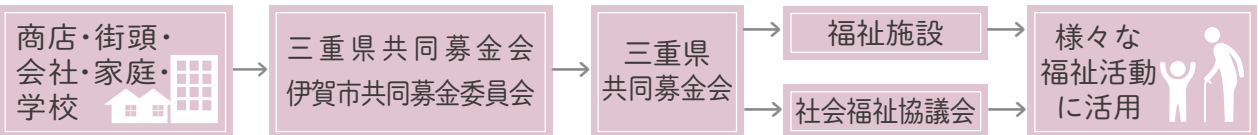
秋の訪れとともに、今年も赤い羽根共同募金運動の時期がやってまいりました。

昨年は、市民のみなさまの深いご理解とご協力により、多大なる募金が集まりましたことを厚くお礼申し上げます。寄せられました募金は、社会福祉協議会をはじめ、福祉施設や地域福祉団体、学校等に配分し、ふれあい・いきいきサロンや子育てサロン、地域食堂などの居場所づくり、要援護者宅への火災警報器の取り付け、小中学校の学習活動、地域福祉活動等に活用させていただきました。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活上の困りごとを抱える方にも寄り添い、解決をめざす事業にも活かされました。

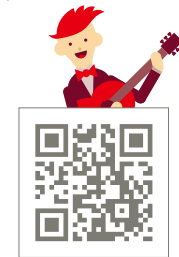
今年も10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動が展開されます。伊賀市が、だれもが安心して暮らすことができる地域となるよう、この運動に多くの方々のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会 会長 松井 謙二

■共同募金の流れ



スマホからも
募金できます



意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会 伊賀市平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 ☎0595-33-0064

令和4年度
伊賀市共同募金委員会
実績額

11,184,493円

みなさまのご協力
ありがとうございます

街頭募金
327,280円
個人募金
756,912円

職域募金
1,185,686円

法人募金
1,543,045円

総合計
11,184,493円

戸別募金
6,869,576円

イベント募金
220,355円
学校募金
177,032円

その他 104,607円
(UMO、ガチャガチャ、
啓発グッズ、自動販売機
など)

ありがとう!



令和5年度 共同募金配分金助成事業予算【三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会配分】

地域福祉団体活動助成事業

地域福祉に取り組む当事者組織、ボランティア市民活動団体、地域団体等に対し、資機材購入や研修・調査活動等への助成を行います。

生活困窮・子どもの貧困対策事業

フードパントリーを通じた、子育て世帯への食料等の提供を行います。

生活困窮、社会的孤立・孤独対策事業

孤立・孤独に陥りやすい方の住まいの環境整備を支援します。

緊急食料等提供事業

低所得者が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合、食料等の現物提供により、世帯の自立生活を支援します。



貸出備品等購入事業

地域のイベント等で使う備品を購入・修理します。

「ラジオ体操で交流」支援事業

ラジオ体操を通じて健康増進や孤独孤立予防、見守り、世代間交流に取り組む地域や団体に、のぼりやCD、カード等の資材を渡します。

災害見舞金・災害救援支援金給付事業

市内で発生した、天災人災を問わない局地的災害により全焼（全壊）または半焼（半壊）の被災者への見舞金や、地域住民による炊き出し等の支援活動への支援金を給付します。

子育てサロン講師派遣事業

音楽療法及び3B体操教室、ベビーマッサージの講師を派遣します。

三重県共同募金会広域配分

(県下の社会福祉施設・団体、災害時の活動支援などに配分)

584,493円
(5.2%)

地域福祉団体
活動助成事業
1,500,000円
(13.4%)

全市統一事業
3,900,000円
(34.9%)

11,184,493円

ふれあい・
いきいきサロン
支援事業
5,200,000円
(46.5%)

ふれあい・いきいきサロン支援事業

身近な地域で、高齢者や障がいのある方、子育て中の親、ボランティア等が協働で企画・運営をし、見守りや閉じこもり、孤立や介護予防を目指す仲間作りの場を支援します。



ふれあい・いきいきサロン
(いが料理クラブ【男の料理教室】)

ひとりひとりのやさしい気持ちが、まちの福祉を支えています。

数字で見る伊賀市の福祉

令和5年8月末現在(前月比)

伊賀市の人口	▶ 86,278人 (−56人)		
伊賀市の世帯数	▶ 40,465世帯		
65歳以上高齢者数	▶ 29,196人 (−17人)	高齢化率	▶ 33.8% (±0%)
75歳以上高齢者数	▶ 16,125人 (+38人)	後期高齢化率	▶ 18.7% (+0.1%)
介護保険認定者数	▶ 6,105人 (−57人)		

あなたのまちの
ふれあい・いきいきサロン

No.197



法花ふれあい・いきいきサロン
メンバー数／23名
開催場所／法花集落センター
開催頻度／月1回

法花ふれあい・いきいきサロンは、令和2年度に発足しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催ができず、令和5年6月より活動を始めています。75歳以上の方が、月1回第3土曜日の13時30分から、歌を歌ったり、映画鑑賞や体操などをして過ごしています。また、活動を支える協力者には、参加者とは「支える・支えられる」ではなく、「ともにサロン活動を進める仲間」として参加していただくことを大切にしています。

この日は、地元の小学生と中学生の姉弟によるピアノコンサートが行われ、最後はラジオ体操の生演奏により、みんなで体を動かししました。参加者からは、「小さい時から知っているの。大きくなったわね」と、姉弟の成長を喜んでおられました。

協力者は、「『楽しく・気軽に・無理なく・自由にご参加いただく』ことがこのサロンの主旨です。ひとりでも多くの方の参加をお待ちしています」と話されていました。

我ら！ふくし
レンジャー

No.206



やまね まさひろ
山根 政広さん(58歳) 上野在住

●活動を始めたきっかけ

以前から消防団員として地域の防災・安全に関わっています。今年度から中瀬地域住民自治協議会の会長に就任し、より深く関わるようになりました。就任するまでの4年間、歴代自治協の会長さんや区長さんが取り組んできた、防災の取り組みを継続しています。

●活動内容

今年11月に、伊賀市と中瀬地域自治協の共催で「市総合防災訓練」を開催します。これまで自治協が取り組んできたことを十分に発揮できるように、現在も部会を中心に熱心に協議を繰り返しています。

●今後の抱負

中瀬には10の区があり、高齢化率や人口等様々ですが、「中瀬に住んで良かった」と全ての住民さんに思ってもらえるような地域に近づけていくことが目標です。この5年間取り組んできた防災の事業だけではなく、子育てや高齢者の見守りや生活支援など、解決していく課題があります。自治協の役員だけではなく、いろいろな団体や企業などとも手を組みながら、安心していつまでも暮らせる地域づくりに頑張っており、取り組んでいきたいです。

表紙は、福祉教育の一環として、上野南小学校5年生の授業で、社協の活動や赤い羽根共同募金のしくみについて講話させていただいたことを、発表されている様子です。児童のみなさんは、学んだことを、他学年のみなさんに元気に発表してくださいました。

編集後記

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
いがまち	〒519-1413 愛田 513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1313 馬場 1128番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
大山田	〒518-1422 平田 656番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988の1番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555

●この広報誌は、社協会費、有料広告等により発行しております。

No.211 10月号

8